

# 全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会  
 厚生連

〒110- 東京都台東区入谷  
 0013 1-9-5  
 TEL 03-3874-3591  
 FAX 03-3874-3593  
 発行日 毎月20日 定価 30円  
<https://www.zenkouro.org/>

## 地域医療の後退はさせない!

# 闘いを教訓に

前号に引き続き、各県19年度の取り組みについて掲載します。地域医療を守る取り組みで茨城と三重、コロナ禍での労組活動について北海道と茨城に事前アンケートと取材を行いました。各県様々な課題や問題は、いつでもどこの県・病院でも起こりうることです。各県の取り組みを振り返ることで教訓とし、「いざ」という時へしっかりと備えましょう。

### 茨城 なめがたの教訓を広げて



19春闘団交で「病院として存続する」ことを経営側明言させる

2020年に入ってから、新型コロナウイルスで思ったような活動ができなくなってしまう、大幅に計画が滞っています。茨城では、なめがた地域医療センターの縮小が19年4月にありましたが、同年2月3月は縮小

その後は、病院側の意向もあって（縮小後、落ち着きたいとのこと）、拡充の活動を大々的にはできませんでしたが、「地域医療ネットワーク」の活動で地域の一般の人たちと、茨城の医療のあり方について語り合うことが出来ました。

県や市への支援要請にも取り組みました。県厚生連と当該病院、鹿行（ろっこう）5市や県などが入って始まった「あり方検討会議」は、財政や医師確保の面での課題に有効策を打ち出せてはならず、コロナの影響もあって会議回数も予定より減っています。しかしコロナ対応のためにも、なめがた地域医療センターの役割も大きいことを訴えています。鹿行労連の地域活動の中では、地元から「鹿島労災と神栖済生会の合併で医療状況は好転すると思っていたが医師確保されず進んでいない。なめがた縮小の影響は思っていたより大きい。元に戻してほしい」という声も上がっています。

また茨厚労各支部大会では、なめがたの闘いの経験と教訓をパワポで振り返り、「活動で乗り越える」「諦めたら前進はない」ということを広げています。

現在は、新型コロナウイルスの関係で集会や宣伝行動が出来ないのですが、県医労連の活動の一環として、424

反対署名や医療介護従事者へのメッセージを集める「ポスティング行動」を行っています。（茨厚労）

# 「一時金確保」へ全力を尽くす

# コロナ対応組合員のために

2面 北海道 茨城

3面 全厚連

今年に入り、新型コロナウイルスウイルス関連で、3月と5月に一緒に県へ緊急申し入れに行く機会もあり、医療現場の状況や、マスク・ガ

護よくするネット」では、手始めに不足していたマスク1万枚を調達し、県内の7病院と厚生連病院に贈呈

【2面へ続く】

### 三重 地域医療考へる ネットワークで情報共有

三重労・畑中委員長に話を聞きました。

概要請で実態伝える

2015年に地域医療構想が言われ始めた頃、三重では県医労連や自治労連、県労連による企画で、年1回地域医療をテーマにしたシンポジウムが行われていました。全厚労医療研でもたびたびお呼びしている長友薫輝先生（三重短期大学教授）を中心に企画されることも多く、その頃より「三重労も一緒にやりませんか!」と声を掛けられ、お手伝い程度ですが携わってきました。

地域の病院で情報共有

運営資金は大きな組織（労連・自治労連・医労連・三重労）からと、個人募金やその他参加団体からの会費です。略称「みえ医療介



なめがた地域のスーパー前で署名集め

【1面から続く】  
しました。それぞれの病院から、お礼の電話や感謝状を頂きました。

その他も、労働組合が無い病院や小さな組織に対して、情報交換や提供をしています。最近ではコロナの慰労金について、小さい病院では出ていないといった話があったので、広報を出しました。厚生連で当たり前だと思っている情報でも、知らない病院の人たちがいるので、そういった人たちの助けになればと活動しています。三厚労としても、ネットワークで地域の他病院の状況や、地域医療構想の動向など多くの情報が得られ、メリットとなっています。

——三重医療介護良く



マスクと拍手で医療労働者へ感謝とエールを送る

するネット」では、11月に新型コロナについての学習会を、オンライン併用型で開催する予定です。各県でも、厚生連だけでなく地域の医療機関と繋がる取り組みができれば、より強固な医療組織体制をつくること

（教宣部 高本奉彦）

### 茨城 コロナ対応、各地で奮闘

茨城は6病院の内、3つが感染症指定病院になっています。報道もされましたが、3月下旬、JAとりで総合医療センターで集団感染が発生しました。3月27日に、救急外来から通常の肺炎診断で入院した患者が、入院後のPCR検査で陽性と確認され、同じ病棟の患者や看護師らも感染、同日から救急を含む外来を一時中止し、対策が保健所指導の下で行われました。一般A病棟のスタッフとその他

の接触者、感染疑いのスタッフは、自宅待機で2週間ほど休業し、その間は、他病棟からのリリーフで対応しました。院内感染がそれ以上拡大せず、コロナ患者もほぼ全員退院したことから、安全が確認されたとして4月13日から外来診療が再開しました。

茨厚労では、「立ち入り禁止だが、仲間を応援したい」との声が上がり、「いばこうろうニュース」で特集号「大変な時こそ、団結

土浦協同病院では、もともと3次救急をしており、重症患者も受け入れました。一般病棟を再編、コロナ対応病棟も作り、休床してスタッフを重点配置しました。特に重症患者への対応は、治療方法も確定しない中、文献に当たりながら手探りの毎日、心身の疲労は大変なものでした。心理的な不安も当然ですが、フルPPEは体力も相当奪いました。最後の重症患者を送りだしたとき、医師も含めた

### 涙ながらに 健闘たたえ合う

医療材料の不足は、全病院での問題で、取手へ送れる分は送りました。マスクの備蓄も病院によってまちまちで、各病院では配給制（枚数も頻度もまちまち）、自分で購入したものを使う、院内でマスクの手作りもしました。いまだ支給されるマスクの量が十分でないところもあり、フェイスガード、エプロンやガウンも手作りし、利用しているところもあります。手指消毒液は正規品が入らなくなったので、薬剤部で調合していましたが、現在は正規品が回るようになってきました。経費削減から、防護用の医療材料の在庫を持たないようになっていたようですが、今回の件で少なくとも各病院3ヵ月分ぐらいの在庫は持つようにして欲しいと要望しています。

### 「3密回避」の 団体交渉に苦慮

5月初めは、大会議室で机1つに1人が座り、組合

スタッフ全員で涙ながらに健闘をたたえ合ったと聞いています。

側40名ぐらい入れる形で検討していましたが、その後、「情勢から団体交渉という形で実施するのはいかがでしょうか」との意向が会側から示されました。

とで、夏季一時金は例年よりマイナス0.5ヶ月の1.5ヶ月支給で妥結。コロナ対応をしながら2ヶ月を確保する交渉にならなかつたことは残念ですが、疲弊しているスタッフに少しでも早く支給することを優先しての判断でした。

ます。北海道では、1月28日に新型コロナウィルスの発生が確認され、2月28日には北海道独自の「非常事態宣言」が発令されました。

いたオリンピック等の影響で期間が足りず、十分に回れず、大会では厳しい意見もいただきました。

### WEB環境、会議の充実

中執で協議し、労使協議会程度の人数で（20名弱、各支部複数名参加）までなら仕方ないだろう、それ以上の縮小だと協議にならないとの結論を伝えました。会側も了承し、会議室の大きさから組合側最大25名まで（中執と支部4役程度）で、団交を数回行うことになりました。

またコロナへの対応やハラスメントなど、細かい課題を労使協議会で扱うことを確約させたので、団交時間も短めにしました。本来ならば、大勢の一般組合員に経営側の態度を見てもらい回答を直に聞いてもらうことで、次の運動につなげたいところでしたが、役員だけの団交にならざるを得ませんでした。（茨厚労）

WEB環境、会議の充実  
混乱が続く中でしたが、各支部にPC、ポケットWi-Fiを6月中に配備し、7月以降の会議はスムーズに行われるように枠組みを作りました。7月に行われた定期大会においても、たくさんPCを配置しスムーズな議事運営がされました。

### 周知できない 心苦しい

日程も「資金繰りが出来ていない」との理由で後ろにずれこみ、福祉医療機構からの借り入れが出来たこと

2、3月は期末手当、春闘期と重なって重要な時期でしたが、コロナの影響で中央執行委員会など参集することができませんでした。

そんな中、本会が保有しているWEB会議システムを使用し会議を行いました。会側もシステムの使用を快く引き受けてくれました。しかし、コロナ禍での緊急的な対応となり、会議を行うって議論をすることが精一杯な状態でした。労組役員が分会（支部）に説明に行くこともコロナでの行動制限等がありできず、議論した内容を各分会・組合員へ十分周知ができない状態での団体交渉となり、組合員に申し訳ない気持ちを持ってのオルグがコロナや予定されて

「組合員を助けない、何とかしたい」  
新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた病院の組合員などから組合や会へたくさん要望や意見が多く集まっています。労組として何とか組合員の力になりたい、助けたいの思いから、「災害等特別会計」を新設しました。既存の特別会計規程では、地震や台風等の災害などにしか対応できなかったため、今回の様な大規模な感染症にも十分対応できるよう、感染症災害を認められ、会計基準としました。今後コロナ対応を行った組合員への支援方法を議論していきます。

### 北海道 コロナ禍こそ 組合員のためにも考えを

北厚労・下保誠史中央副執行委員長が取材に応じてくれました。下保さんは、

組織部長を兼務、労働組合の維持と本会との連携に非常に重要な役割を担っています。

2、3月は期末手当、春闘期と重なって重要な時期でしたが、コロナの影響で中央執行委員会など参集することができませんでした。

災害等特別会計を新設  
規程では、地震や台風等の災害などにしか対応できなかったため、今回の様な大規模な感染症にも十分対応できるよう、感染症災害を認められ、会計基準としました。今後コロナ対応を行った組合員への支援方法を議論していきます。



9ヵ月ぶりの集合型中執とウェブ評議会



北厚労オンライン大会でのスローガン採択

説明に行くこともコロナでの行動制限等がありできず、議論した内容を各分会・組合員へ十分周知ができない状態での団体交渉となり、組合員に申し訳ない気持ちを持ってのオルグがコロナや予定されて

（教宣部 平田篤史）

新シリーズ Q&Aで学ぶ労働基準法

## 時間外割増がなくなる!?

Q. 病院の収益が悪化していると言われ、経費節減の号令がかかるようになりまし。合わせて残業代が、これまで定時以降25%割増だったものが、突然1日8間の法定労働時間(所定労働は7時間半)までは割増しないと聞かれました。わずかな金額ですが、問題はないのでしょうか?

A. 労働条件の「不利益変更」であり、実施するにはそれなりの理由と「手続き」が必要です。

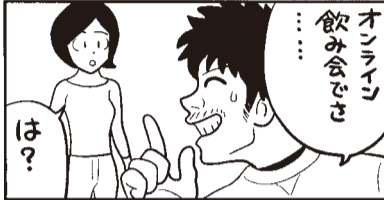
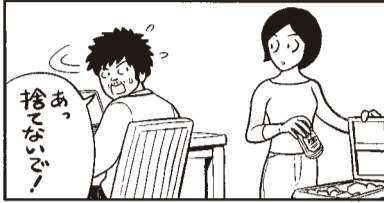
労働基準法上は、1日の法定労働時間は8時間で、そこまでの労働に割増を付ける必要はありません。しかし会社の就業規則で、所定労働時間(その事業所で定められた1日の労働時間)を越えて割増賃金を支払う規定になっていけば、それを使用者が一方的に削ることはできません。就業規則では少なくとも、労働時間(始業・

終業時刻)や休憩、休日・休暇、交替制、賃金の計算・支払方法等、昇給、退職について記載する必要があり、基本的な職場の「働くルール」が明記されています。職場に労働組合があれば、団体交渉を行って、独自の労働条件や就業規則を上回る条件を協定することも可能です。

この説明の詳細を知りたい方は、QRコードを読み取って、全厚労HPの資料を参照してみてください。



## 嘸う門福来る? カクイン ジュンク



## 協会へ現場の声を伝える

### Web看護委員会

9月15日、19年度第3回看護委員会を開催し、最初に日本医労連増員闘争本部の松田事務局長を講師に「夜勤の有害性と夜勤制限闘争」について学習しまし

た。今後の活動については、19年秋の幹部・看護師集会在台風19号で半日集会になり、後半もコロナ禍が広がる中で十分な取り組みが出来なかつたことも踏まえて

つ、重点目標として①「3交代・月6日夜勤」の夜勤制限闘争、②最低70%以上+昨年比2日の年休取得向上と完全取得、③サービス残業根絶と長時間労働削減の3課題を「三位一体」で取り組み、増員につなげる

た。最後に日本看護協会看護労働部の奥村氏をオンラインで迎え入れ懇談。奥村氏からは、コロナに関する看護職への大規模Web調査を進め、委員会独自の宣伝、啓蒙グッズを検討しようと呼びかけました。グッズでは、徳島の時間外申請クリ

アファイルやバインダーも参考に、「マスク」「フェイスマスク」などが候補に挙がっています。その後、各県のコロナ対応状況を交流し、患者受け入れ体制構築での大変さや防護資材不足の状況、医療従事者の移動制限などの実態などを出し合いました。



看護協会・奥村氏(左)に現場実態を伝える

## 地域医療のため労使協同を

### 全厚連要請

9月28日、全厚労四役はZoomを使って、全厚連に20秋闘要求、コロナ対策等

について要請を行いました。全厚連からは中村代表理事

などを求めました。中村理事長は、「6月末には同じ公的医療機関である赤十字・済生会の連名で政府へ要請、9月には自

一時金確保へ 全力を尽くす

民党「農民の健康を創る会」と政府同席の下、話し合いの場を設け、緊急包括支援交付金の配分や基本診療料の増額、感染防護具の確保、医療従事者への差別・偏見対策、公立病院同等の支援などの緊急要請を行っている」と説明されました。

また農水省の動向については、「農水省は、これまでの監督指針の運用の見直し案を策定中で、固定比率については必ずしも100%達成ではなく、3年間の財務改善計画を立ててもらおう中で、例えば75%から80%への取り組みを具体的に示してもらおう、等の内容になる見直し」との状況が話されました。



初めてオンライン形式で行った要請行動

初めて4名が対応。①「働き方」を改め、長時間労働・不払い労働改善、年休消化、ハラスメント対策等を強化すること。③コロナ禍での地域医療を守るため、労使で協力・協同できることを進めること、

またコロナ後も「患者の回復には2年くらいかかるのでは」とし、「今後とも赤十字や済生会など医療団体と連携して、政府への働きかけを強め、予備費の活用など医療経営維持に向けていきたい」と話されました。

全厚連からは、「全厚連が各種行っている調査等について、現場の実態やニーズに合ったものにしてほしい。現場の専門職とも相談して取り組んで欲しい」との要望や、「理事長からのハラスメント防止に関わるトップメッセージの発出」、「賃金・労働条件の決定に関わる十分な情報開示や、誠実・丁寧な労使協議」、「地域の医療提供体制を維持するための、労使共同アピールの取り組み」等を提案、意見交換しました。

# 頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第157回は富山と山口にお願いしました。

富厚労からは本部で書記次長を務める橋孝志くん(滑川病院支部)を紹介します。

彼は診療放射線技師で主にMRI検査を担当し、看護師さんが忙しい時には職域を越えて手伝ってくれる優しい男です。笑顔もステキで、患者さんへの言葉がけも丁寧で好感が持てます。フットワークも軽く労働組合の活動においては、各部署の状況を聞き、問題がある部分には迅速に対応してくれるので、とても頼りになります。何故、その様な事ができるのか考えてみましたが、小さな頃から剣道をしているそうで、高校時代には国体選手に選ばれる腕前だそうです。剣道を通じて鍛えられた精神力や忍耐力が活かされているのだと思います。そしてこれから病院を引っ張って行ってくれる若者であると思います。

また、グルメ通でもあり、ミシュランガイドに載っているお店をよく知っています。美味しいお店探しに困った時には彼に相談すると満足するお店を紹介してくれると思いますよ。



富山 橋孝志さん

山厚労期待のニュータイプ看護師、磯部麻耶夫さんを紹介します。

磯部さんはこう見えて(?)とっても「うさぎ」好き! 自宅で飼育し、旅行や研修に出かけた際にも土産売り場でウサギグッズを探して走り回っています。

また、コロナの影響でインドア趣味が高じて、今ではオンラインゲームを主催する立場になった程です。最近では自身の体重と体力の危機感から、ニンテンドースイッチのリングフィットやポケモンGOで健康増進に取り組んでいます。やはりゲーム三昧?!

そんな彼も看護師11年目となり未来の支部長候補

(!)として、働きやすい職場作りを目指して走り回っています。

種々の問題解決に冷静に取り組んでいる姿は、山厚労として大いに期待しています。

大会や研修などで彼を見かけたら是非お声がけ下さい。



山口 磯部麻耶夫さん

## 読者の声

例年クリスマスには、患者さんに向けて職員で作る吹奏楽やコーラスによるコンサートを開いています。

しかし、今年はどんなかたちで患者さんに季節をお届けできるか…。きつとできることがあるはず! みんなで考えよう!! (長野)

— コロナによる自粛・中止は当たり前だった日常を大きく変化させてしまいましたね。別の意味で新しいことにチャレンジですね! (KU)

私は今年6月に第二子を出産しました。妊娠時はコロナが流行する事など

予想も出来ませんでした。感染リスクを心配しながら産休までなんとか働き、旦那が立ち会えない状況で1人で出産に挑みました。今は現場から離れ子育て中ですが、本当に早くコロナが終息することを願っています。(福島)

— ご出産おめでとうございます。私も8月に第二子が産まれ、コロナ禍での出産を経験しました。様々な制限で大変でしたね。コロナ収束を祈ります。(OK)

コロナのおかげで、自分の時間が増えました。この時間を有意義に使いたいと思って、呼吸器の資格の勉強を始めています。いつのまにか過ぎていく日々もよいのですが、看護師として成

長していきたいと思っています。(富山)

— コロナ禍だからできること、たくさんありますね。自分自身を見直す時間、今からを見据える時間。今できることを今やる!! (HR)

— コロナの中、GOTOトラベルなどありますが、どうしても医療従事者と思つと県外や遠出は行けずになんとか悔しい思いがあります。早くコロナが落ち着いて楽しくお出かけ行ける日が待ち遠しいです。(福島)

— 自分がコロナに感染したら? 病院に持ち込んでしまったら? と考えてしまつて、外出は避けてしまっていますね…。気兼ねなく遠出できる日を願うばかりです。(SN)

## 医労連共済で備えよう

私たちの労働組合には、入院・休業、まさかの死亡などを支えあう制度=医労連共済があります。

新型コロナ感染が猛威をふるっており、不安に感じている方も多いかと思ひます。医労連共済は、病気休業などに備えて、安い掛金で大きな保障ができる制度です。

### 新型コロナで陽性になった場合

<b>月掛金 2400円</b>	
<b>入院</b> (1日目から給付) <b>11,000円/1日</b>	<b>休業</b> (連続5日目以上から給付) <b>5,000円/1日</b>
<small>※指定感染症で「不慮の事故」として加算されます。</small>	<small>※医師の安静療養の指示が必要ですが。</small>

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。



読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。質問1・2は、聞かせて・教えてのコーナー掲載号で使用します。

## 教宣部の つぶやき

今できることを今やる。コロナ禍の中、様々な取り組みを今後どう進めていくとよいか困惑している人も多くいると思います。しかし、今だからこそ自分の足を元を見直す機会かと思ひます。自身を振り返り、今までのやり方を見直し、今からのようにできるか考えることが出来ます。地固めの時期だと思ひます。齊に自粛規制することはある意味簡単です。できることから少しずつです。何もできないと言つても何もしなければ、何も変わりません。「今できることを今やる」ことが大切だと思ひます。(HR)

## ザ★クロスワード

出題▶モロゾミ勝

1	2		3	4	5
			A		
6		7			
8		9		10	
	11		12	13	
14			D	16	
17		18	19		20
	21			22	
23			B	24	
					C

答 A B C D E F

### ヨコのカギ

- 12時または24時のことです
- 今年11月7日です
- 地図上でNの方角
- 人種……反対
- 千歳あめを持った子がお宮参りします
- クジラが吹きます
- 間違っている文字
- 順番。優先……
- 「啄木鳥」って読めますか?
- 馬が肥える季節
- ……綱。……文字
- 夕方に発行する新聞
- パソコンの入力器
- 彼女の相手
- 以前の看護師の名称
- ズボンの別の呼び方

### タテのカギ

- 1 「三国志」は中国三国時代についての……書
- 2 双方が同じことを繰り返して、ちがいがあかないこと
- 3 復しゅう。雪辱戦
- 4 丸くて長くて中は空っぽ
- 5 スイッチョンと鳴く虫
- 6 パンダの主食
- 7 のちの目。……談
- 8 人を親しく感じる気持ち
- 9 風呂につく水アカ
- 10 「弱化」の反対語は?
- 11 支給すること。……金
- 12 もちつき道具の一つ
- 13 歯並び。……矯正
- 14 息子や娘の子ども

当選者(読者の声掲載者含む)15名様に図書(クオ)カードを差し上げます  
答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。  
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。8月号の答えは「コロナブトリ」で、  
当選倍率は3・6倍(クロスワード・聞かせて、読者の声計15名当選)でした。